

令和 6 年度
第 1 回 苫小牧市福祉のまちづくり推進会議 議事録

■ 日 時：令和 6 年 8 月 19 日（月） 14 時 00 分から 14 時 30 分まで

■ 場 所：苫小牧市福祉ふれあいセンター 1 階研修室

■ 出席者：20 名

<開会挨拶>

山本副市長

<委員>

井上 あゆみ 井村 友美 江尾 清 木幡 久志 斉藤 フミ子

佐々木 彩 鈴木 英樹 千寺丸 洋 本間 貞樹 山田 幸雄

山本 茂夫（敬称略）

<事務局>

白川福祉部長 上川福祉部次長 中村福祉部次長 寺西障がい福祉課長

青山課長補佐 渡辺主査 佐藤主査 加藤主任主事

■ 欠席者：2 名

<委員>

野中 雅子 福田 瑞穂

■ 次 第

1 開 会

2 挨 拶

3 委 員 紹 介

4 議長・副議長 選出

5 議 長 挨 拶

6 議 事

（1）苫小牧市福祉のまちづくり条例について

（2）苫小牧市福祉のまちづくり推進計画について

（3）関連事業について

（4）その他

7 閉 会

■ 議事要旨等：次項以降

【議長・副議長選出】

以下のとおり決定した。

議長：佐々木 彩 委員

副議長：千寺丸 洋 委員

【議事要旨】

報告事項（説明者：事務局 渡辺）

- ・ 苫小牧市福祉のまちづくり条例について
- ・ 苫小牧市福祉のまちづくり推進計画について
- ・ 関連事業について

～資料に基づき説明～

【質疑要旨】

議事(2) 苫小牧市福祉のまちづくり推進計画について

千寺丸副議長：避難行動要支援者名簿について、危機管理室・包括・社協・町内会等で整理を行っておりますが、町内会から障がい者の支援をどうやって実施するか等、色々な障害特性への戸惑いがあるように思えます。事務局である障がい福祉課様にも町内会などへの同行等ご協力いただけないでしょうか。

事務局：ご意見を参考にさせていただきます。また、障害特性を理解できるあいさポーター研修も併せて PR していただければと思います。

斉藤委員：災害時における障がいのある人の受け入れや避難所の設置についてどのようにお考えでしょうか。

事務局：基本的に他の方と一緒に避難所となりますが、医療行為が必要な方などについては福祉避難所などの利用を想定しています。

斉藤委員：特に自閉スペクトラム症のような方（大声奇声をあげる方、多動傾向のある方など）の対応も考えてほしい。親が遠慮して車に避難するケースもあります。例えば避難所の中においてパーテーションで区切った範囲であれば声を出しても大丈夫というような、具体的に障がいのある方の対応方針というようなことがありますか。

事務局：国の避難所運営マニュアルが令和 3 年度に改定されまして、配慮が必要な方には別室を用意する方法が示されました。一次避難所には行っていただきますが、配慮が必要な方については別室対応できないかということについて小学校などと交渉している段階です。また市役所の避難所担当者はその点を意識しながら避難所運営を行うこととなっております。

井村委員：避難所で利用できるのは体育館だけではないので、活用していただければと思っています。

江尾委員： 避難所における障がい者のトイレ対応について、何度も助けてもらうのは抵抗があるため、水分調整をする方がいると思います。そのためホテル等の自分で生活できるような場所を利用できるように配慮をいただきたいです。

事務局： いただいたご意見は担当部署に伝えさせていただきます。

議事(3) 関連事業について

千寺丸副議長： 港まつり花火大会を主催したタウンマネジメントや企業が障がい者を招待する際に、トイレ問題に直面しましたが、とまレットや車椅子用の簡易トイレを用意いただいて、運用で助けていただきました。何も用意がなければ花火を間近で見るができなかったかもしれないと感謝の言葉を頂いております。また、障がい者就労についても仕事の依頼等企業にも手伝っていただいて、話が進んでいる部分もあり、行政と一緒にそういった話を進めて行ければと思っていますので、この場を借りて紹介させていただきました。

質疑終了

その他の事項については質疑がなく、会議終了